



平成29年(2017年)3月期 決算説明会 資料

平成29年(2017年)5月31日

KNT-CTホールディングス株式会社

目 次

経営統合 概要	P2
事業構造図	P3
KNT－CTホールディングス連結範囲	P4
平成29年(2017年)3月期業績およびセグメント別売上高	P5
平成29年(2017年)3月期貸借対照表	P6
平成29年(2017年)3月期キャッシュフローの状況	P7
平成30年(2018年)3月期通期業績予想	P8
連結業績推移.....	P9
事業構造改革について	P10～19

平成25年(2013年)1月1日 持株会社体制 “KNT-CTホールディングス株式会社”に移行

当社は平成25年(2013年)1月1日、持株会社体制に移行し、グループ各社の「自立経営」と「連携強化」を促進するとともに

“近畿日本ツーリスト” “クラブツーリズム”

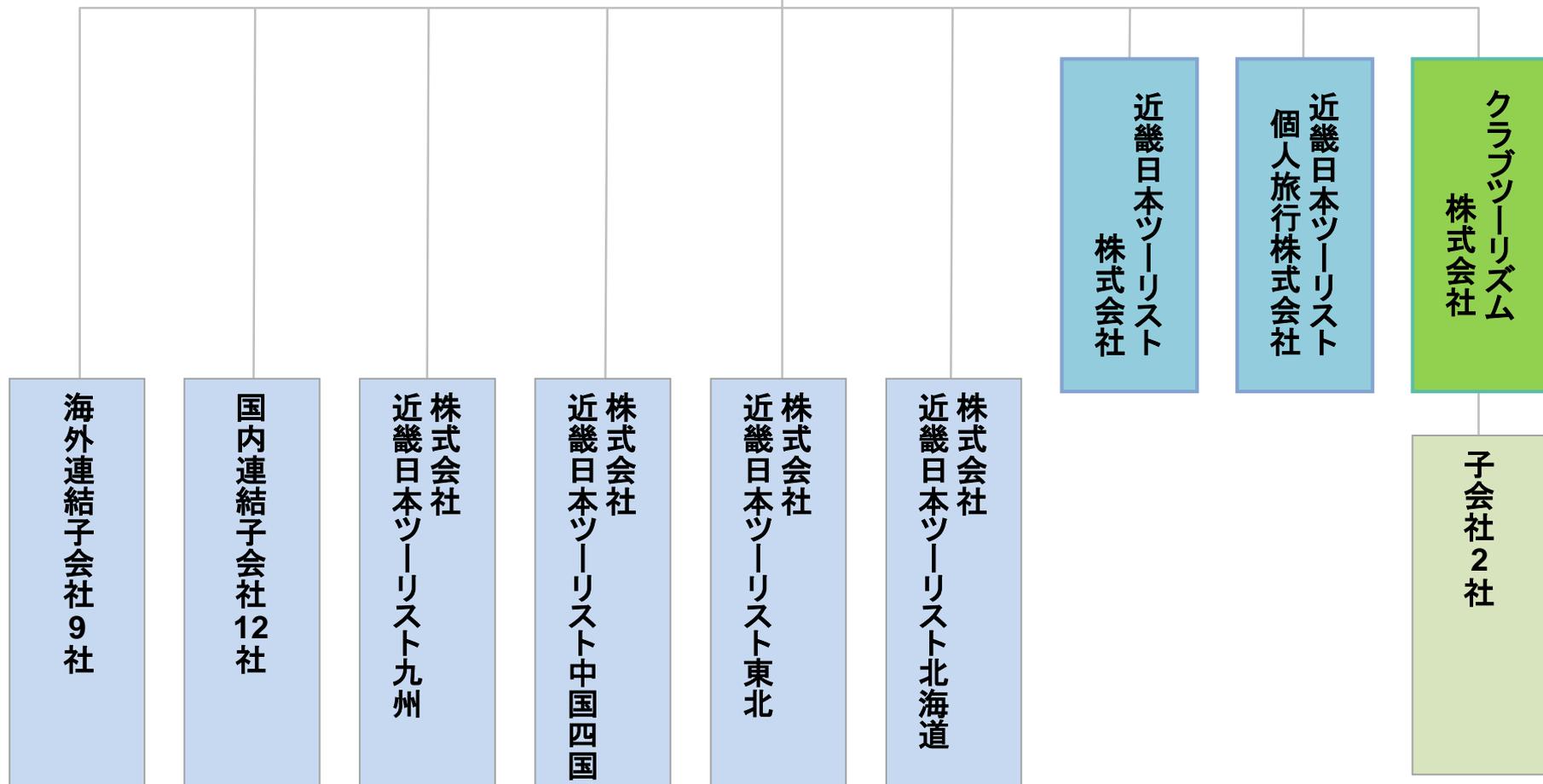
の長所を活かした「シナジー効果」の最大化を推進。

**近畿日本
ツーリスト**



事業構造図

KNT-CTホールディングス株式会社



KNT-CTホールディングス連結範囲

【連結子会社 31社】

国内旅行会社(13社)	近畿日本ツーリスト、近畿日本ツーリスト個人旅行、クラブツーリズム、 近畿日本ツーリスト北海道、近畿日本ツーリスト東北、近畿日本ツーリスト神奈川、 近畿日本ツーリスト中国四国、近畿日本ツーリスト九州、近畿日本ツーリスト沖縄、 ユナイテッドツアーズ、ティー・ゲート、 昭和トラベラーズクラブ、三喜トラベルサービス	
海外旅行会社(8社)	KIE(USA)、KIE(CANADA)、KIE(Oceania)、近畿国際旅行社(中国)有限公司、台湾近畿国際旅行社 他	
その他 関連事業会社(10社)	労働者派遣業務	ツーリストエキスパート
	商事・保険	近畿日本ツーリスト商事
	業務受託、他	ツーリストサービス北海道、KNTビジネスクリエイト
	アシスタント業務	ツーリストインターナショナルアシスタンスサービス
	イベント&コンベンション企画	イベントアンドコンベンションハウス
	介護事業	クラブツーリズム・ライフケアサービス
	再保険引受事業会社(2社)	H&M INSURANCE HAWAII、GRIFFIN INSURANCE
宇宙旅行事業	クラブツーリズム・スペースツアーズ	

【持分法適用関連会社 2社】

国内	NTTデータ・テラノス
海外	KNT TRAVEL (THAILAND)



ホールディングス
本社ビル全景

平成29年(2017年)3月期業績およびセグメント別売上高

単位:百万円

単位:百万円

	平成29年(2017年) 3月期		個人旅行 事業	団体旅行 事業	その他	調整額	連結財務諸表 計上額
売上高	396,004	外部顧客 への 売上高	220,068	99,414	76,241	278	396,004
売上総利益	71,603	セグメント 間の内部 売上高又 は振替高	117	1,379	9,673	△11,169	—
営業利益	2,968	売上高計	220,186	100,793	85,914	△10,890	396,004
経常利益	3,045	セグメント 利益	694	875	929	469	2,968
特別利益	287						
特別損失	3,928						
親会社株主に 帰属する 当期純利益	△1,329						

平成29年(2017年)3月期 貸借対照表

単位:百万円

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当連結会計年度 (平成29年3月31日)	増減額
流動資産	106,675	112,599	5,923
うち現金及び 預金、預け金	65,437	66,155	718
固定資産	17,594	16,291	△1,303
資産合計	124,270	128,890	4,620
流動負債	96,053	99,908	3,855
うち営業未払金・ 旅行券等	37,194	39,742	2,548
固定負債	4,431	4,463	32
負債合計	100,484	104,372	3,887
純資産合計	23,785	24,517	732
うち利益剰余金	7,647	6,318	△1,329
負債および 純資産合計	124,270	128,890	4,620

	前連結会計年度 (平成28年 3月31日)	当連結会計年度 (平成29年 3月31日)
自己資本 比率	19.1%	19.0%
	前連結会計年度 (平成28年 3月31日)	当連結会計年度 (平成29年 3月31日)
一株当たり 純資産	87.37円	89.39円

平成29年(2017年)3月期 キャッシュ・フローの状況

単位:百万円

	当連結会計年度 (自平成28年4月1日 至 平成29年3月31日)
営業活動による キャッシュ・フロー	2,540
投資活動による キャッシュ・フロー	△2,125
財務活動による キャッシュ・フロー	252
現金及び現金同等物 の期末残高	65,238

平成30年(2018年)3月期〔通期業績予想〕

	平成30年(2018年)3月期 〔通期予想〕
売上高	4,130億円
営業利益	34億円
経常利益	36億円
親会社株主に帰属する 当期純利益	17億円
1株当たり 当期純利益	6円22銭

連結業績推移

単位:億円

	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度 (予想)
売上高	4,482	4,334	4,249	3,960	4,130
営業利益	38	33	63	29	34
経常利益	35	40	66	30	36
親会社株主に 帰属する 当期純利益	18	△12	43	△13	17

(注)平成28年度(経過年度)は除く



事業構造改革について

本事業構造改革の背景

旅行市場の現況

● 旅行業を取り巻く環境

- ✓ 日本国内における人口減少や高齢化、世界経済の発展、国を超えた人の動きの活発化等内外の社会構造が変化

● 旅行市場の現状

- ✓ オンライン・トラベル・エージェントの攻勢による競争激化、交通諸機関のインターネットを介した直販化の進展、「民泊」に代表される各種規制緩和により事業環境が著しく変化

● 旅行市場の可能性

- ✓ 政府の「観光立国」に向けた政策、東京2020オリンピック・パラリンピックの開催、訪日旅行者の大幅な増加、コト消費の拡大など、旅行市場全体は今後も拡大

事業構造改革の目的

激変する事業環境に即応し今後も成長を続けるため、
組織および権限の「集中と分散」を基本方針とする事業構造改革を実施

基本戦略

- 1 グループ横断的な事業戦略の策定機能
および事業推進機能の強化
- 2 地域密着による意思決定の迅速化、機動力の発揮
- 3 訪日旅行事業、インターネット販売事業など
成長マーケットへの専門特化

◆ 「集中」に基づく再編

グループ横断的な事業戦略の策定機能および事業推進機能の強化



- 近畿日本ツーリスト(株)、近畿日本ツーリスト個人旅行(株)の事業統括部門を当社に集約
- 営業最前線の情報を当社に集約し、マーケット情報等と有機的に結合させ、横断的なグループ事業戦略の策定、および事業推進機能の強化
- 後方業務の集約による効率化と、仕入等のスケールメリットの拡大など総合力を高め、グループ全体の基盤強化を図る

事業構造改革の概要②

◆ 「分散」に基づく再編

1. 地域旅行会社の設立

【設立する地域旅行会社名】

株式会社近畿日本ツーリスト首都圏
株式会社近畿日本ツーリスト中部

株式会社近畿日本ツーリスト関東
株式会社近畿日本ツーリスト関西



複雑化するニーズへの対応 意思決定の迅速化

旅行形態やニーズがますます多様化・複雑化する中、お客さまのご要望に迅速かつ柔軟に対応できる組織体制へ

お客様との接点を広げる 機動力の発揮

地域のお客さまとの接点を広げ、すべての旅行形態と関連需要を取り込み、地域発型旅行の事業を深化

着地型旅行商品造成の強化

自治体が推進する地域誘客への取組みに呼応し、各社に「地域誘客センター(総称)」を設置。地域の観光素材の商品化やイベントの開発を強化し、着型旅行の需要を獲得・拡大する

※新会社の会社名は、いずれも現時点での仮称です。

事業構造改革の概要③

2. 東京地区の法人需要を深耕する会社の分社

【設立する地域旅行会社名】
株式会社近畿日本ツーリストECC

東京エリアの旅行需要の増大

2020年に向け、大手企業の本社が集中する東京地区は、今後も企業・法人の旅行需要が増大の見込み

企業・法人専門の営業体制

現在、企業・団体の旅行およびMICEを取扱う近畿日本ツーリスト(株)の担当部門を分社

MICE: 国際会議、展示会、イベント等



※新会社の会社名は、いずれも現時点での仮称です。

事業構造改革の概要④

3. 訪日旅行事業専門会社の分社

【設立する専門会社名】
株式会社KNT-CTグローバルトラベル



訪日市場の飛躍的拡大

政府による「観光立国」施策の推進やアジア諸国の経済発展などにより、今後も飛躍的な拡大に期待



取組みの加速・迅速な意思決定

訪日旅行を、収益の大きな柱の一つとし、近畿日本ツーリスト(株)、近畿日本ツーリスト個人旅行(株)、クラブツーリズム(株)および当社に分散していた訪日旅行関連部門を新会社に集約。取組みの加速化とともに、意思決定の迅速化、経営資源の集中投下を図る

※新会社の会社名は、いずれも現時点での仮称です。

4. インターネット販売専門会社の分社

【設立する専門会社名】

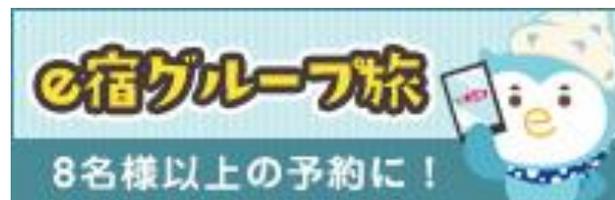
株式会社近畿日本ツーリストWEB

WEB戦略部門の独立

グループのWEB戦略、インターネット販売を強化するため、近畿日本ツーリスト個人旅行(株)の担当部門を専門会社として独立

迅速な意思決定・アライアンス強化

投資を含めた意思決定の迅速化、専門人材の拡充、外部とのアライアンス体制の推進



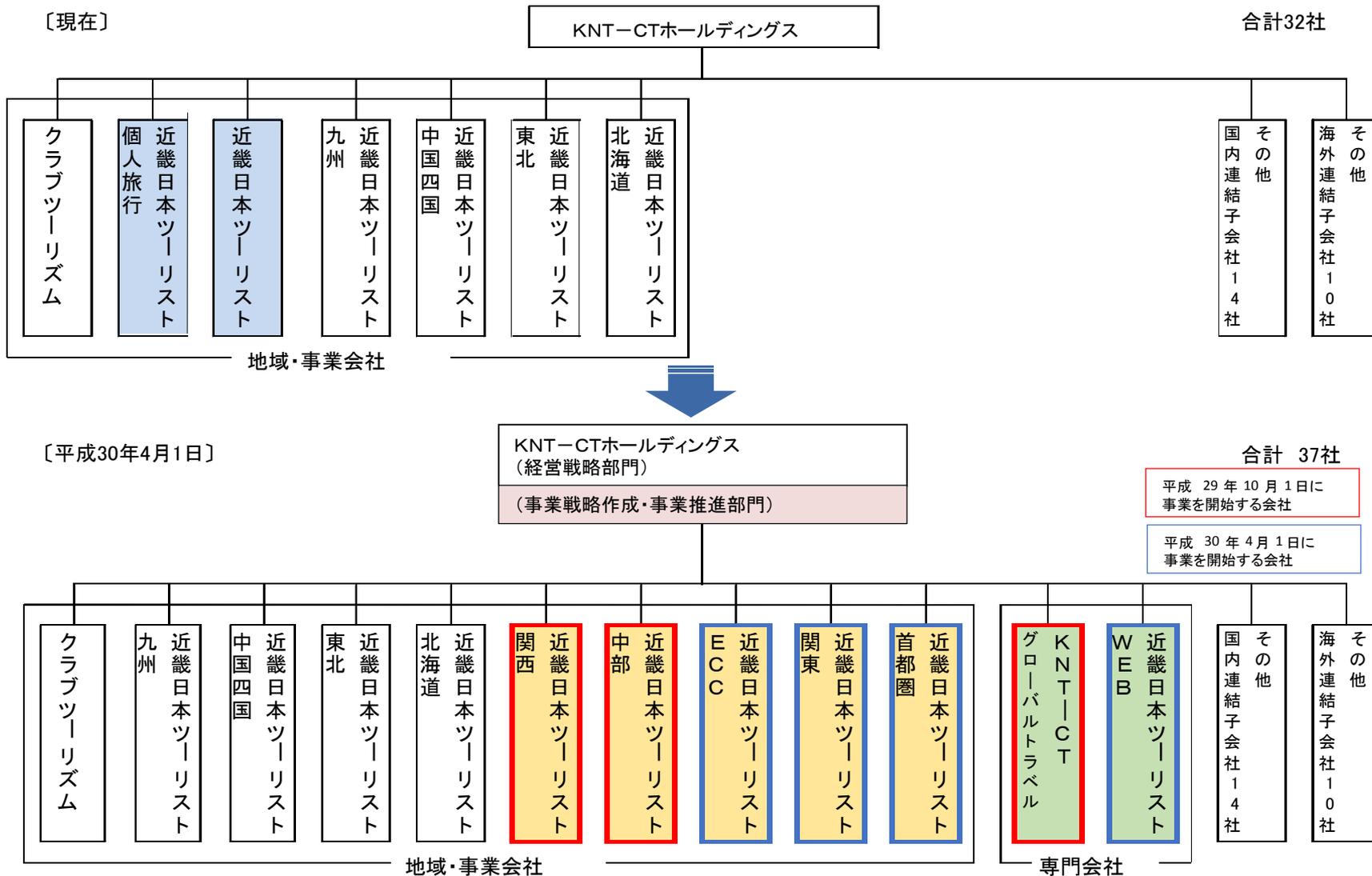
※新会社の会社名は、いずれも現時点での仮称です。

事業構造改革のスケジュール

平成29年10月1日 事業開始	地域旅行会社	株式会社近畿日本ツーリスト中部 株式会社近畿日本ツーリスト関西
	専門会社	株式会社KNT-CTグローバルトラベル

平成30年4月1日 事業開始	地域旅行会社	株式会社近畿日本ツーリスト首都圏 株式会社近畿日本ツーリスト関東 株式会社近畿日本ツーリストECC
	専門会社	株式会社近畿日本ツーリストWEB

事業構造改革によるグループ会社体制



KNT-CT ホールディングス株式会社

〒101-8641
東京都千代田区東神田1-7-8
ユニゾ東神田一丁目ビル

総務広報部 広報IR担当

TEL:03-6891-6839 FAX:03-6891-6890

URL: <http://www.kntcthd.co.jp/>

本資料は投資勧誘を目的とした資料ではありません。あくまでも参考資料であり、正確な決算数値は決算短信・有価証券報告書等をご参照ください。本資料で記載しております経営目標は、様々な要因の変化により予想と乖離することもありますので、ご承知いただきますようお願いいたします。